

2019年3月15日（金）発売
Kappo特別編集

女川 復幸の教科書

A4ワイド判／96P 価格／1000円＋税

復興8年の記録と女川の過去・現在・未来



復興のトップランナーと称される女川町。震災のわずか一か月後、産業界を中心に民間が垣根を越えて一つになった団体「女川町復興連絡協議会（以下、FRK）」が立ち上がった。そのFRKが女川の復旧復興に対してどのような動きをしたのか。各業界はどう動いたのか。なぜ起業家たちは女川を選ぶのか。そうした進取性に富んだ気風がなぜ生まれたのか。まちづくりの秘密はどこにあるのか…など、女川の過去・現在・未来を照射し、女川のアイデンティティとは何なのかを様々な視点から明らかにしてくれる一冊です。女川町のキーマン50人超にインタビューを敢行し、復興する女川の8年を記録しました。

編集／「女川 復幸の教科書」編集委員会
協力／女川町観光協会
発行／株式会社プレスアート
仙台市若林区土樋103番地
TEL 022-266-0912 FAX 022-266-0913

お申込み先：一般社団法人 女川町観光協会 電話：0225-54-4328 FAX：0225-54-3361

F A X 申 込 書

ご住所			
お名前		電話番号	
※購入数をご記入ください			

冊

※3月11日よりWEBフォームでもお申込みいただけます。詳細は「おながわたび (<http://www.onagawa.org/>)」をご覧ください。

＜女川ヒストリー＞

女川の原点を作った磯村産業と女川の水産業の変遷

＜被害状況＞

東日本大震災 女川町の被害状況と直後対応

民間主導のまちづくり

復興の歩み年表

女川町復興連絡協議会（FRK）がもたらしたものの

- ①FRKが女川の復興に果たした役割 ②いち早い商業の再開と仮設商店街の設置
③公民連携によるまちづくり会社の設立 ④FRK戦略室が果たした役割とアスヘノキボウ

INTERVIEW その時、各業界はどう動いたか
工業／水産／基盤整備／教育／病院／宿泊／議会

INTERVIEW 震災後に生まれた新たな動き
女川さいがいFM／女川町復幸祭／ステージ／我歴STOCK in 女川

まちづくりのコンセプト

INTERVIEW 須田善明町長に聞く「チーム女川のまちづくり」

座談会 「女川町復興まちづくりデザイン会議」の全容

「活動人口をターゲットにした取り組み」

INTERVIEW 「スポーツを通じて地域を活性化させる。コバルトレー女川の挑戦」

START! ONAGAWA

＜震災後に生まれた起業家たち＞

Onagawa factory／みなとまちセラミカ工房／ガル屋Beer／三陸石鹼工房 KURIYA／Bar Sugar Shack／
GUITAR LIFE DESIGN GLIDE／今野梱包／鮮冷／OCHACCO／犬専門木工房 Woodwork Studio Noah／
Yume Wo Katare Onagawa

＜震災後に生まれた施設＞

女川温泉ゆほっほ／女川フューチャーセンター Camass（カマス）／女川水産業体験館 あがいんステーション
／女川町まちなか交流館／シーパルピア女川／ハマテラス／ホテル・エルファロ／女川町た
びの情報館ぷらっと／女川町生涯学習センター（図書室、ホール）

女川を食べる！楽しむ！

【魚市場】サンマ、ギンザケ、定置網。全国で評価される鮮度維持の取り組み

【さんま】さんまは、女川のプライド。港町のプロたちの心意気を味わう

【ほや】ほやのうまさを支える3つの要。多彩な味わいに“ほや愛”を見た

【どんぶり】どんぶりに、女川が満ちる。漁師めしの豪快を、ハレのご馳走に

【ソウルフード】誰が言ったか「女川盛り」。うまいをたっぷり、が女川流

【新しい食】最高の海幸をもっとおいしく！向上心とサービス精神が新味の源

【酒場・居酒屋】日が暮れてからが、本番。うまくてやさしい女川の夜

【ネイチャートレッキング】海の町・女川の山々を歩く

【金華山】東奥三大霊場で開運を願う

【釣り】女川湾で釣りデビューしよう

【サイクリング】海沿いを“自分の足”で回る

【ダイビング】三陸の海でしか見られない、四季や生き物たちのドラマを伝えたい